

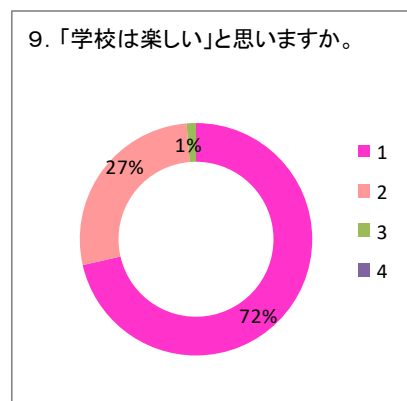
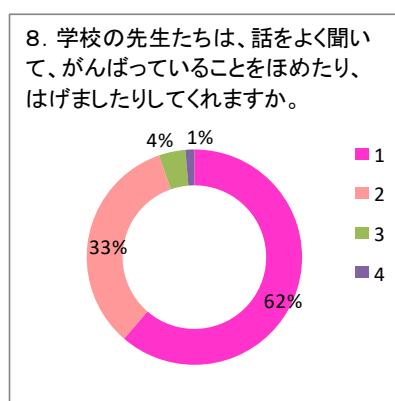
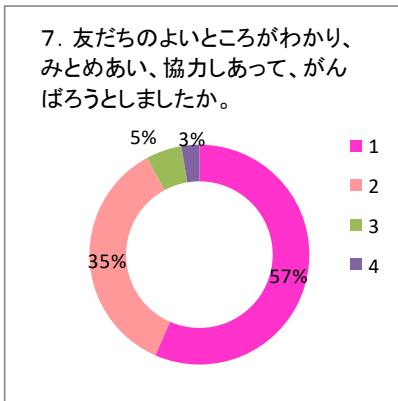
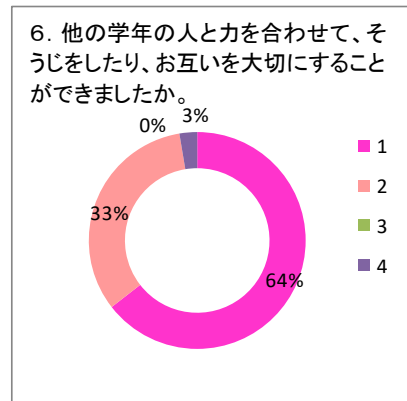
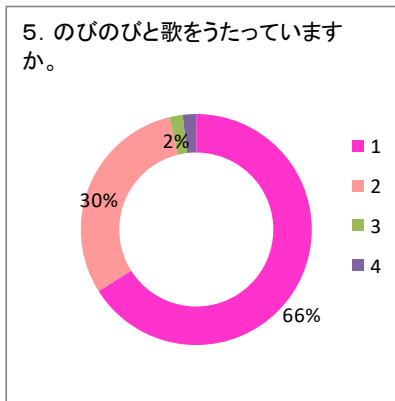
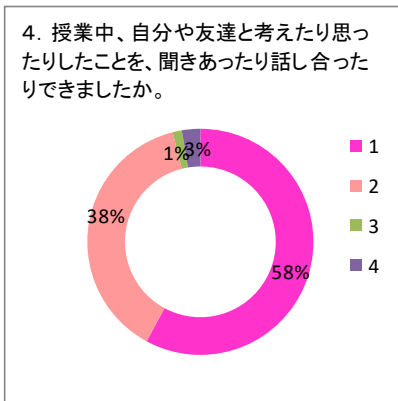
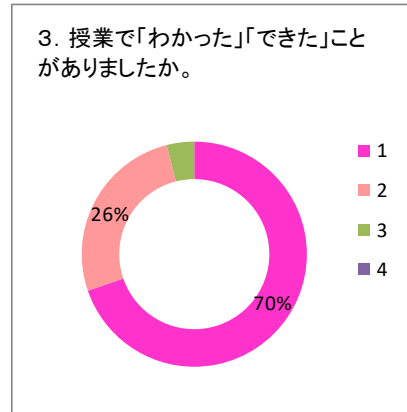
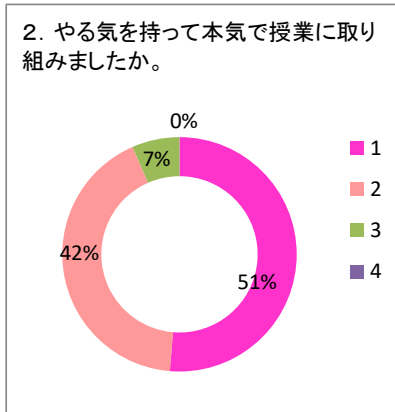
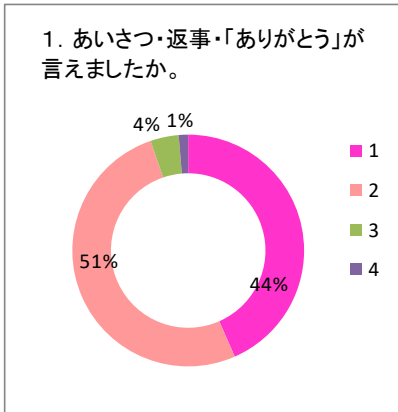


光れ! そえひの子(学校評価アンケート結果)

1学期末に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせします

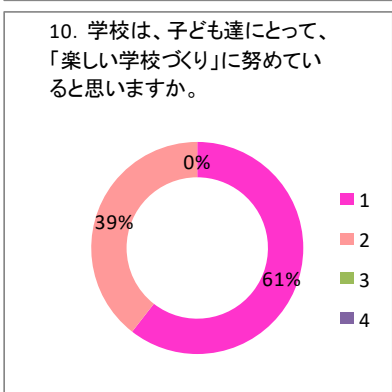
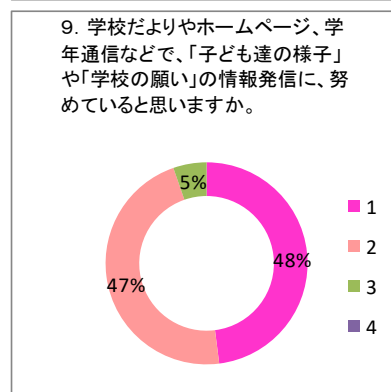
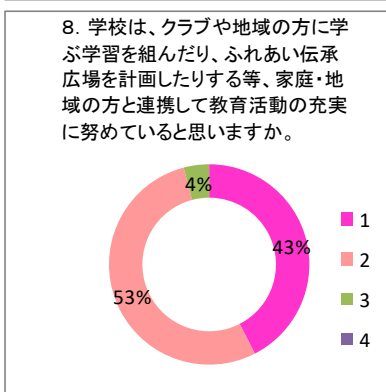
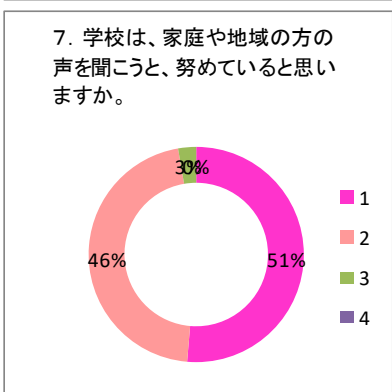
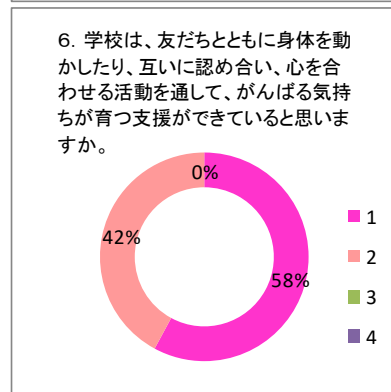
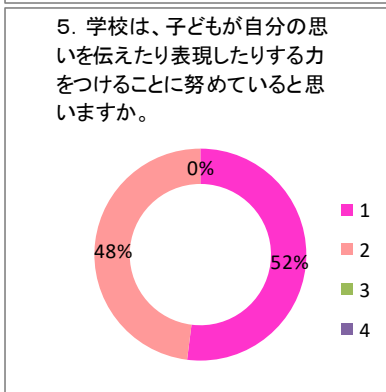
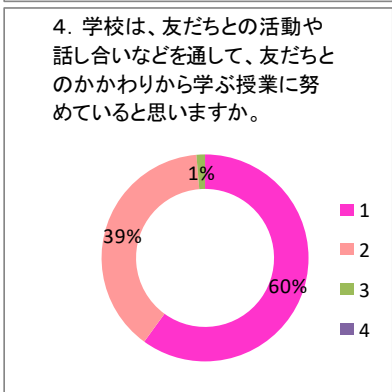
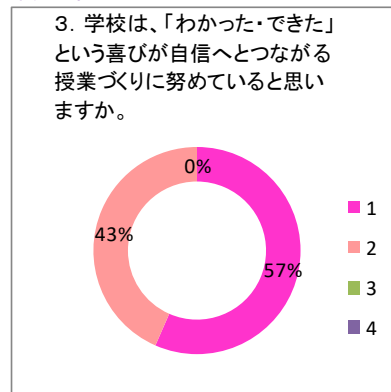
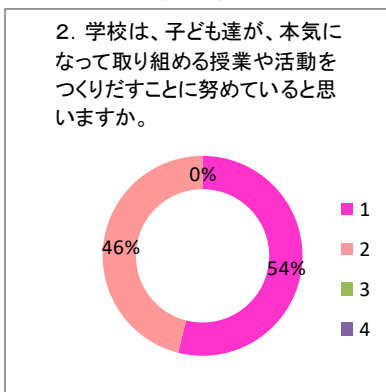
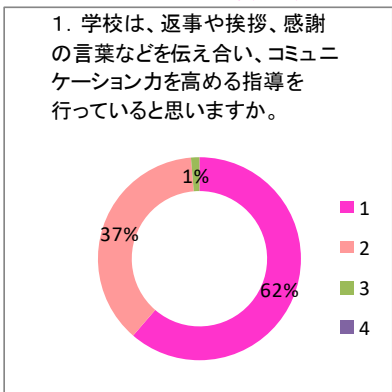
1学期を振り返って<児童評価>

1 とてもそう思う 2 そう思う 3 そう思わない 4 とてもそう思わない



1学期を振り返って〈保護者評価〉

1 とてもそう思う 2 そう思う 3 そう思わない 4 とてもそう思わない



【 考 察 】

1 児童自己評価から

- ▼すべての設問において、「とてもそう思う」「そう思う」の割合が90%前後になりました。アンケートを実施したのは休校開けからまだ1ヵ月ほどで、教育活動に制限のある中ででしたが、元気に学校生活を送れていたと考えられます。一方、どの項目も「そう思わない」「とてもそう思わない」という回答が1割弱います。コロナ禍の影響も考えられますので、生活の様子を注意深くみていく必要を感じています。
- ▼「授業で『わかった』『できた』ことがありましたか。」に、70%近くの子が「とてもそう思う」と答えています。昨年度と比較すると1割減となっています。授業の遅れを取り戻そうとする教師の意識が、無意識のうちに進度を早めてしまった可能性も懸念されます。遅れがほぼ取り戻せた今、改めて授業の質に目を向け、一人ひとりが分かり、学習の達成感や充実感が得られる指導・支援をしていきます。
- ▼コロナ対応のため、実際に歌う場面は少ない中ではありましたが、「のびのびと歌を歌っていますか。」では、96%の子が肯定的に答えています。
- ▼「他の学年の人と力を合わせて、そうじをしたりお互いを大切にしたりすることができましたか。」と「友だちの良いところが分かり、認め合い、協力し合って頑張ろうとしましたか。」は、肯定的な回答がどちらも95%前後の高いレベルでした。コロナ対応で友と関わる機会が減った分、友と過ごす時間をいっそう大切にしようとする思いが現れた結果かと推察します。
- ▼コロナ禍で制約された中にありながらも、全般的に、元気で精一杯、学校生活を送っている子どもが多い本校と思われます。各設問で「そう思わない」と否定的に答えた子に心をよせながら、今後も一人を大切にする傍陽小でありたいと思います。

2 保護者評価から

- ▼児童アンケート同様、「とてもそう思う」「そう思う」との肯定的な回答が多く寄せられました。例年通りの活動が難しい状況下ではありますが、本校の取組にご理解ご協力をいただいていることに深く感謝いたします。
- ▼そんな中、地域活動の充実や学校からの発信に課題を指摘された方が4~5%ほどいらっしゃいました。新型コロナウイルス感染状況を慎重に確認しつつも、活動に工夫を加え可能な限り実施、発信していきたいと考えます。



3 児童の記述より

ほめられたり、みとめてもらってうれしかったり、やるきがでたり、じしんがもてたりしたことがあったらかいてください。

- ・えらいと言われた。
- ・音楽の時間によい姿勢だねとほめられた。
- ・「上手」「頑張ったね」「字がきれい」といわれた。
- ・プールの時ロケットがお手本になれて嬉しかった。
- ・先生にほめられた。
- ・体育の平均台で、みんなに「すごい」と言われたこと。
- ・算数で難しい時に先生が励ましてくれた。
- ・水泳で息づきをうまくできなくて、練習してできるようになったことを先生にほめられた。
- ・道徳の時に、みんなが「良いところ」を書いてくれて嬉しかった。
- ・お母さんに靴をきれいにそろえてくれてありがとうといわれた。
- ・パパが「あゆみ」を見ている時にほめてくれた。





- ・家のリビングを掃除していて「ありがとね」と言われ嬉しかった。
- ・洗濯物をたたんでいたときに「ありがとう」と言ってくれた。
- ・テストの漢字で、5年生の時よりできていてほめられたとき。

4 保護者の記述より

- ・子どもが不安に思ったことがあればすぐに声がけし、対応して頂き安心して楽しく過ごすことができています。
- ・毎日書いてくる「つむぐ」に、先生からの花丸があるととても嬉しそうにしています。他の所でも花丸や先生からのメッセージが嬉しいです。
- ・本人の得意分野の意見や話を沢山聞いて頂き、更に見聞を広め

ようとする子どもの姿を見ることができました。

- ・子どもの声に耳を傾けてくれ、勉強の励みになっていると思います。
- ・限られた時間の水泳授業の中、確実に泳ぎを身につけていた。
- ・出来ているところをすごくほめてもらい、長所をより伸ばそうとしている。
- ・授業の発言、自主学習など、良い点を認めほめてもらえる事が一番やる気、自信につながっています。
- ・自分で考えて、自分でできること、すべき事はしようと話し、行動させています。少しずつできた時には、沢山ほめています。
- ・家族の誰かが忙しいときや、困った時に、自分から助けてくれる、動ける姿が見られます。そんな時に沢山ほめています。
- ・家のことをよく手伝ってくれるところをほめると「まだやることない？」と聞いてくれるようになりました。
- ・宿題以外でも取り組んだことに対しては、その都度ほめるようにしています。
- ・勉強は苦手ですが、工作が得意で上手に出来ると自信がもてます。

5 令和2年度の後半に向けて

(1) 安全・安心を基本に、「わかった、できた」で自信をつけ、自分のよさや成長を感じられる指導・支援

わかったことやできたことが増えていくことが、子どもの成長へとつながります。引き続き、子どもが主体となって考え動く授業となるよう、授業改善に取り組んで参ります。また、自分のよさや成長を自分で感じられるよう、振り返りや職員の言葉がけなどきめ細かな指導を行って参ります。

(2) 「自分の“ことば”で伝え合える」子どもたちのための指導・支援

今年度は「自分の思いや感じたことを言語化する力」に向けた授業研究に、全職員で取り組んでいます。自分の思いや意見を持ち、友と話し合いながら、さらに新たな考えや気づきが生まれる授業改善をはかって参ります。また、縦割り班活動や児童会など、子どもが中心となって行う活動においても、思いを伝え合いながら活動が充実していくよう支援して参ります。

